

業務継続計画 (BCP)

自然災害編

いずみ通所リハビリテーション 本木

法人名 : 社会医療法人社団 医善会

施設・事業所名 : いずみ記念病院 通所リハビリテーション本木

代表者名 : 阪本 浩一郎

管理者名 : 小泉 和雄

所在地 : 東京都足立区本木1-3-7
電話番号 : 03-5888-2128

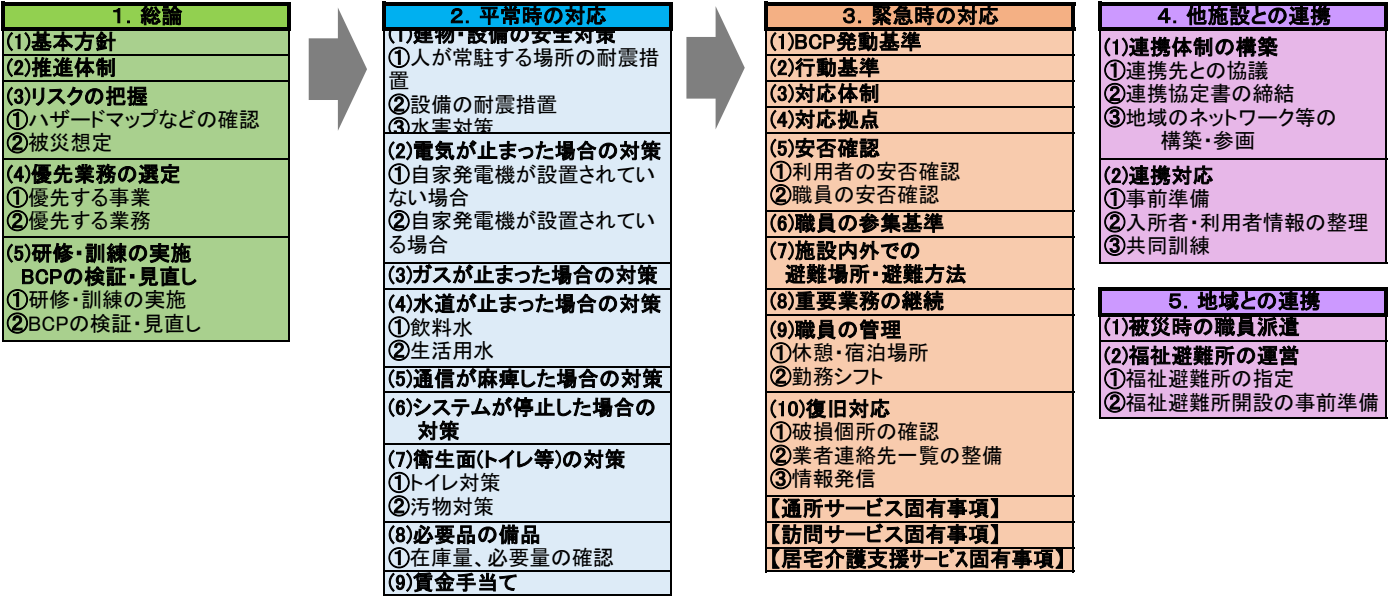
作成日 : 2024年5月1日
改訂日 : 2024年7月30日

目次

1.	総論	1
1.1	基本方針	1
	全体像	1
1.2	推進体制	1
1.3	リスクの把握	1
1.4	優先業務の選定	2
1.5	研修・訓練の実施、BCPの検証・見直し	3
2.	平常時の対応	4
2.1	建物・設備の安全対策	4
2.2	電気が止まった場合の対策	5
2.3	ガスが止まった場合の対策	5
2.4	水道が止まった場合の対策	6
2.5	通信が麻痺した場合の対策	7
2.6	情報システムが停止した場合の対策	7
2.7	衛生面(トイレ等)の対策	7
2.8	必要品の備蓄	8
2.9	資金手当て	8
3.	緊急時の対応	9
3.1	BCPの発動基準	9
3.2	行動基準	9
3.3	対応体制	9
3.4	対応拠点	9
3.5	安否確認	10
3.6	職員の参集基準	10
3.7	施設内外での避難場所・避難方法	11
3.8	重要業務の継続	12
3.9	職員の管理	12
3.10	復旧対応	12
4.	他施設との連携	13
4.1	連携体制の構築	13
4.2	連携対応	13
5.	地域との連携	14
5.1	被災時の職員の派遣	14
5.2	福祉避難所の運営	14
	補足5 対応フローチャート	
	補足6 ハザードマップ	
	補足7 自施設で想定される影響	
	補足8 優先業務の検討	
	補足9 建物・設備の安全対策(地震・水害)	
	補足10 電気、ガス、生活用水が止まった場合の対策	
	補足11 利用者の安否確認シート	
	補足12 職員の安否確認シート	
	補足13 重要業務の継続	
	補足14 連携体制の構築	
	様式1 推進体制の構成メンバー	
	様式2 施設外・事業所外連絡リスト	
	様式5 (部署ごと)職員緊急連絡網	
	様式6 備蓄品リスト	
	様式6-災害 備蓄品リスト(災害用)	
	様式7-災害 業務分類(優先業務の選定)(災害用)	
	様式9 災害時利用者一覧表(安否確認優先順位)	

[illegible]

自然災害(地震・水害等)BCPのフローチャート



補足６：ハザードマップ

リスクの想定
東京都防災会議の被害想定における東京湾北部地震をBCPにおける被害の想定とした。（想定は（東京湾北部地震 M7.3） 18時 風速6M）
【被害の想定（人的被害のみ抜粋）】

負傷者			ゆれ・ 液状化 建物被害	屋内 収容物	急傾斜 地崩壊	火災	ブロック 塀等	落下物
足立区	10,821	6,086	3,933	0	591	188	23	
荒川区	3,264	1,137	1,226	1	801	72	27	
葛飾区	9,067	4,292	2,642	0	1,871	240	22	
区東北部保健医療圏	23,152	11,515	7,801	1	3,263	500	72	

重傷者(再)			ゆれ・ 液状化 建物被害	屋内 収容物	急傾斜 地崩壊	火災	ブロック 塀等	落下物
足立区	10,821	6,086	3,933	0	591	188	23	
荒川区	3,264	1,137	1,226	1	801	72	27	
葛飾区	9,067	4,292	2,642	0	1,871	240	22	
区東北部保健医療圏	23,152	11,515	7,801	1	3,263	500	72	

本院の立地する本木1丁目、建物倒壊危険度4～5、火災危険度4～5に判定されている。足立区内の建物倒壊危険度4～5、火災危険度4～5は、区の南部エリアに集中しており、上記の建物被害及び火災被害者の多くが発生すると考えられる。



当院における被害
周辺の被害と本院における被害について下記の通り想定を行った。
◆周辺の被害

		発生直後 ～6時間	フェーズ1 超急性期 ～72時間	備 考
電気		×	×	停止率:24.3% 近隣火災による電柱の被災
通信	固定電話	×	×	停止率:11.2% 近隣火災による電柱の被災
	携帯電話	×	△	被災地内の通話制限
	PHS	×	△	被災地内の通話制限
	光ケーブル	×	×	最寄りの基地局の耐震性 近隣火災による電柱の被災
水	上水	×	×	停止率:52.7%
	雑排水	○	×	井戸水であり、電源が確保されている場合 非常用発電機の燃料枯渇
	下水	×	○	停止率:27.4%
ガス		×	×	停止率:99.4% マイコンメータにより停止
アクセス	道路	×	×	家屋等の倒壊・火災による道路の閉塞
	交通	×	×	鉄橋の損傷・道路の閉塞
人的被害	想定範囲			
	死者	50	100	足立区東北部で462人の想定 周辺火災で病院に近寄れず
	重傷者	100	300	足立区東北部で915人の想定 周辺火災で病院に近寄れず
	負傷者	200	1000	足立区東北部で8820人の想定 周辺火災で病院に近寄れず

補足7：自施設で想定される影響

東日本大震災の経験値として震度7の地域の復旧日数は、下記の通り。
震度7の場合、電力：1週間、水道：3週間、ガス：5週間でほぼ復旧（リスクを考慮した日数）
震度7の場合、電力：3日、水道：1週間、ガス：3週間で50%復旧
震度6の場合、震度7の50%復旧を、復旧の目安と想定する

電力が復旧しないと、エレベーター、携帯電話、メールは使えない。

	当日	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目
電力	自家発電機→			復旧	→	→	→	→	→
エレベーター	停止→			復旧	→	→	→	→	→
飲料水	備蓄分→							給水車	→
生活用水	貯水槽分→			井戸水	→	→	→	→	→
ガス	復旧	→	→	→	→	→	→	→	→
携帯電話	停止→			復旧	→	→	→	→	→
メール	停止→			復旧	→	→	→	→	→
道路	通行止め→		部分復旧→						

現況と対照した被害の想定

項目	現況の備え	被害状況の想定
(1) 指揮命令系統		
設置基準	震度5以上で災害対策本部設置	△今後BCPの院内周知を図る。
(2) 人員の確保		
通常時配置要員の確認	特になし	×夜間に発災した場合には、人員が不足する。
緊急時参集要員の確認	特になし	△緊急時において、3時間以内に参集できる人員が全体の60%を超える。
(3) 場所や資材の確保		
医療スペースの確認	廊下の転用を想定	○特になし
(4) 搬送手段の確保		
搬送手段の確認	病院救急車を使用	×搬送先について調整が必要
(5) 建物や設備		
建物	全ての建物を耐震化	×倒壊はしないが、ガラス等の破損や天井の落下が想定される。
電気設備	特になし	×周辺での停電可能性は高い
水	特になし	×断水の可能性有
通信	特になし	×周辺での火災・建物倒壊により電話線の切断の可能性ある
ガス	特になし	×低圧ガスによる供給のため、供給停止の可能性有
(6) ライフラインの確保		
電気のバックアップ	非常用発電機の設置（備蓄燃料有）	△発電可能時間：22.2時間
水	備蓄	
ガス		

補足 8 : 優先業務の検討

様式7-災害で優先する業務(出勤率30%、発災後6時間)に必要な人員を計算
出勤可能者をイメージし、複数の業務ができるかを検討した。

優先業務	必要な職員数[人]			
	朝	昼	夕	夜間
与薬介助	0.2	0.2	0.2	0
排泄介助	0.5	0.5	0.5	0.5
食事準備・介助	1.5	1.5	1.5	0
見守り	0.8	0.8	0.8	0.5
合計(名)	3.0	3.0	3.0	1.0

補足 9：建物・設備の安全対策（地震、水害）

建物関連

対象	対応策	備考
天井	天井の石膏ボードの落下防止を行う	
窓	廊下、出入口のガラス飛散防止フィルムの貼付け	

什器(家具、キャビネット・机)、パソコン等

対象	対応策	備考
事務所の什器	キャビネットは転倒防止のため壁に固定する	
食堂の食器棚	壁を補強して転倒防止のため壁に固定する ガラス飛散防止フィルムの貼付け	
風呂場の棚	棚を壁に固定する	
風呂桶	床に固定する	
利用者居室の家具	家具の壁に固定する	
パソコン本体	机に固定する 重要なデータは、バックアップをとり、保管する	
ディスプレイ	机に固定する	

建物外部の施設

対象	対応策	備考
燃油タンク	地面への固定アンカーの定期確認	

水害対策関連

対象	対応策	備考
出入口	建物入口に止水板・防水扉配備済み。	
施設周辺	側溝や排水溝の定期見回り	
逆流防止	風呂、トイレ等の排水溝からの逆流防止	
屋外重要設備	受電・変電設備の浸水対策	

補足１０：電気、ガス、生活用水が止まった場合の対策

電気		
稼働させるべき設備及び必要な備品	代替策	備考
医療機器： 喀痰吸引、人工呼吸器など	自家発電機：400Kw x 8 時間使用可能。 燃料は軽油。ガソリンスタンドと優先供給 協定を締結済み。	医療機器等の予備バッテリーを準備
情報機器： パソコン、テレビ、インターネットなど	電気なしでも使える代替品(乾電池や手動 で稼働するもの)の準備や業務の方策を検討 する。	
冷蔵庫・冷凍庫 夏場は暑さ対策として保冷剤等を用意		
照明器具、冷暖房器具	乾電池：単一 20本 単三 40本、単四40本	【様式6】-災害に記入
その他、代替の電源を考える	自動車のバッテリーや電気自動車の電源を 活用することも有用である。	
	自動車のシガレットの変換器	スマホの充電、照明には利用できる
	太陽光パネルの設置	

ガス		
稼働させるべき設備及び必要な備品	代替策	備考
暖房機器	湯たんぽ、毛布、使い捨てカイロ、 灯油ストーブ	暖房器具とその燃料を準備
調理器具	カセットコンロ、ホットプレート	火力が弱いので大量の調理には向かない
	ＬＰガスボンベ+五徳コンロを備蓄する	ガス業者等からのレンタルの可否の確認
給湯設備	入浴は中止し、清拭	
その他、代替の熱源を考える	都市ガスをＬＰガスに替えるなど	

飲料水		
稼働させるべき設備及び必要な備品	代替策	備考
飲料	日に2リットルをペットボトルで取る	
食事	アルファ米のために必要	
口腔ケア	職員数に応じてサービス提供	

生活用水		
稼働させるべき設備及び必要な備品	代替策	備考
入浴	当面、休止し、清拭	
トイレ	簡易トイレ、仮設トイレを使用	バケツで流す場合 大14L×1回、小9L×3回＝41L/日/人
清掃、消毒		

通信		
稼働させるべき設備及び必要な備品	代替策	備考
スマートフォン	発電機で充電	
MCA無線機	無線機用の乾電池を備蓄	

情報システム		
稼働させるべき設備及び必要な備品	代替策	備考
パソコン	使用制限。または発電機で電源を供給	
プリンター	使用制限。または発電機で電源を供給	
W i F i	使用制限。または発電機で電源を供給	

衛生面		
稼働させるべき設備及び必要な備品	代替策	備考
水洗トイレ	仮設トイレ	
	簡易トイレ	
	オムツ	

補足 1 1 : 利用者の安否確認シート

負傷している場合は、**医療機関**へ搬送を要請する

フロア：

エリア・ユニット：

No	ご利用者氏名	部屋番号	安否確認	容態・状況
1			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
2			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
3			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
4			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
5			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
6			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
7			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
8			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
9			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
10			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
11			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
12			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
13			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
14			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
15			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
16			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
17			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
18			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
19			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
20			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	

補足１２：職員の安否確認シート

フロア：

エリア・ユニット：

No	氏名	安否確認	自宅状況	家族の安否	出勤可否
1		無事 ・ 負傷 不明 ・ 死亡	問題なし 半壊 ・ 全壊	無事 ・ 負傷/死亡 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
2		無事 ・ 負傷 不明 ・ 死亡	問題なし 半壊 ・ 全壊	無事 ・ 負傷/死亡 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
3		無事 ・ 負傷 不明 ・ 死亡	問題なし 半壊 ・ 全壊	無事 ・ 負傷/死亡 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
4		無事 ・ 負傷 不明 ・ 死亡	問題なし 半壊 ・ 全壊	無事 ・ 負傷/死亡 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
5		無事 ・ 負傷 不明 ・ 死亡	問題なし 半壊 ・ 全壊	無事 ・ 負傷/死亡 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
6		無事 ・ 負傷 不明 ・ 死亡	問題なし 半壊 ・ 全壊	無事 ・ 負傷/死亡 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
7		無事 ・ 負傷 不明 ・ 死亡	問題なし 半壊 ・ 全壊	無事 ・ 負傷/死亡 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
8		無事 ・ 負傷 不明 ・ 死亡	問題なし 半壊 ・ 全壊	無事 ・ 負傷/死亡 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
9		無事 ・ 負傷 不明 ・ 死亡	問題なし 半壊 ・ 全壊	無事 ・ 負傷/死亡 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
10		無事 ・ 負傷 不明 ・ 死亡	問題なし 半壊 ・ 全壊	無事 ・ 負傷/死亡 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
11		無事 ・ 負傷 不明 ・ 死亡	問題なし 半壊 ・ 全壊	無事 ・ 負傷/死亡 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
12		無事 ・ 負傷 不明 ・ 死亡	問題なし 半壊 ・ 全壊	無事 ・ 負傷/死亡 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
13		無事 ・ 負傷 不明 ・ 死亡	問題なし 半壊 ・ 全壊	無事 ・ 負傷/死亡 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
14		無事 ・ 負傷 不明 ・ 死亡	問題なし 半壊 ・ 全壊	無事 ・ 負傷/死亡 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
15		無事 ・ 負傷 不明 ・ 死亡	問題なし 半壊 ・ 全壊	無事 ・ 負傷/死亡 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
16		無事 ・ 負傷 不明 ・ 死亡	問題なし 半壊 ・ 全壊	無事 ・ 負傷/死亡 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
17		無事 ・ 負傷 不明 ・ 死亡	問題なし 半壊 ・ 全壊	無事 ・ 負傷/死亡 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
18		無事 ・ 負傷 不明 ・ 死亡	問題なし 半壊 ・ 全壊	無事 ・ 負傷/死亡 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
19		無事 ・ 負傷 不明 ・ 死亡	問題なし 半壊 ・ 全壊	無事 ・ 負傷/死亡 備考()	可能 ・ 不可能 備考()
20		無事 ・ 負傷 不明 ・ 死亡	問題なし 半壊 ・ 全壊	無事 ・ 負傷/死亡 備考()	可能 ・ 不可能 備考()

補足１３：重要業務の継続

様式７-災害と同じ復旧想定にする。この場合、震度６で停電３日、断水７日
震度７の想定は、停電７日、断水３週間

経過 目安	夜間 職員のみ	発災後 ６時間	発災後 １日	発災後 ３日	発災後 ７日
出勤率	出勤率3%	出勤率30%	出勤率50%	出勤率70%	出勤率90%
在庫量	在庫100%	在庫90%	在庫70%	在庫20%	在庫正常
ライフライン	停電、断水	停電、断水	停電、断水	断水	復旧
業務基準	職員・入所者の 安全確認のみ	安全と生命を 守るための 必要最低限	食事、排泄中 心 その他は休止 もしくは減	一部休止、減と するが、ほぼ 通常に近づけ る	ほぼ通常どお り
給食	休止	必要最低限の メニューの準備	飲用水、栄養 補給食品、簡 易食品、炊き出 し	炊き出し 光熱水復旧の 範囲で調理開 始	炊き出し 光熱水復旧の 範囲で調理開 始
食事介助	休止	応援体制が 整うまでなし 必要な利用者 に介助	必要な利用者 に介助	必要な利用者 に介助	必要な利用者 に介助
口腔ケア	休止	応援体制が 整うまでなし	応援体制が 整うまでなし	適宜介助	ほぼ通常どお り
水分補給	応援体制が 整うまでなし	飲用水準備 必要な利用者 に 介助	飲用水準備 必要な利用者 に 介助	飲用水準備 必要な利用者 に 介助	飲用水準備 ほぼ通常どお り
入浴介助	失禁等ある利 用者は清拭	適宜清拭	適宜清拭	適宜清拭	光熱水が復旧 しだい入浴

(出典)令和元年度社会福祉推進事業「社会福祉施設等におけるBCPの有用性に関する調査研究事業」

(提供)社会福祉法人 若竹会 非常災害等対策計画(一部抜粋)

補足 1 4：連携体制の構築

【連携関係のある施設・法人】

施設・事業所・法人名	連絡先	連携内容

【連携関係のある医療機関（協力医療機関等）】

医療機関名	連絡先	連携内容

【連携関係のある社協・行政・自治会等】

名称	連絡先	連携内容

様式1：推進体制の構成メンバー

担当者名／部署名	対策本部における職務（権限・役割）	
院長 山崎 勝雄 電話：03-5888-2111	対策本部長	・対策本部組織の統括、全体統括 ・緊急対応に関する意思決定
師長 真壁 あずさ 電話：03-5888-2111	本部員	・対策本部長のサポート
所長 阪本 浩一郎 電話：03-5888-2128	本部員	・対策本部の運営実務の統括 ・関係各部署との窓口 ・社外対応の窓口
		・社外対応(指定権者) ・医療機関との連携 ・関連機関、他施設、関連業者との連携
主任 大島 祥子 電話：03-5888-2128	本部員	・ホームページ、広報、地域住民への情報公開 ・感染防護具の管理、調達
主任補佐 小川 賢一郎 電話：03-5888-2128	現場責任者	・施設内の統括 ・保健所、医療機関、受診・相談センターへの連絡 ・利用者、ご家族、職員への情報提供・発信
看護部長 吉田 朋子 電話：03-5888-2111	医療・看護班	・感染拡大防止対策に関する統括 ・感染防止策の策定、教育 ・医療ケア
主任 大島 祥子 電話：03-5888-2128	介護班	・介護業務の継続
栄養室長 藤原 洋子 電話：03-5888-2111	給食班	・給食業務の継続

(注)施設・事業所の状況に応じて、機関種別の追加・削除・修正してください。

様式2：施設外・事業所外連絡リスト

(注)施設・事業所の状況に応じて、各機関で具体的な連絡先を記入してください

(注)このリストを印刷した紙を普段利用し、訂正が必要な所を朱書きし、BCP更新時にファイルを見直すといい。

行政、医療機関、委託業者・取引先などの連絡先を予め確認し、本様式に記入する（別途作成されている場合は、作成不要）。

連絡先は、できれば複数名にすると良い。感染症と共用にする場合は赤字の機関を追加する。

機関種別	名称	担当者	部署	電話番号	メールアドレス	住所	備考
地域医療機関	いずみ記念病院	後藤師長	救急外来	03-5888-2111		足立区本木1-3-7	
保健所	江北保健センター			03-3896-4004	kouhoku-hoken@city.adachi.tokyo.jp	足立区西新井本町二丁目30番40号	
自治体	足立区介護保険課		給付係	03-3880-5743	kaigo@city.adachi.tokyo.jp	足立区中央本町一丁目17番1号	
建物	大成建設		総務				
エレベーター	東芝エレベーター		総務				
電気	非常用発電機		総務				
水道	東京都水道局		総務				
ガス	東京ガス		総務				
電話	足立通信		総務				
ガソリンスタンド	小高商事		総務				
購入業者	ダイオーズ	三宅		0120-023-456			トイレ消臭剤
給食関係	ベネミール		栄養課				
インターネット							
自動車							
ガソリンスタンド							
購入業者							
委託業者							
給食関係							

様式5：（部署ごと）職員緊急連絡網

地震の場合、出勤可能の判断情報を備考に追記する

職員の緊急連絡先を予め確認し、本様式に記入する（別途作成されている場合は、作成不要）。

[illegible]

感染症対策編との兼用可

【感染防止】 この感染防止は、感染症編と同じでも良い

[illegible]

様式6-災害：備蓄品リスト

自然災害用の備蓄品/リストを作成します。

備蓄品の管理をするのに記入する。（※必要に応じてシートをコピーして使用。）

【ライフライン】(防災用品)									
No	区分	品目	備蓄量		必要量/格不足量	単位	保管場所	担当者	調達先
			目安	備蓄量					
1	電気	発電機(LPG式)	1	1	1	台	屋外倉庫	施設長	—
2		発電機燃料(LPG)	50			Kg			1.5kVA 1.9リットル/kgの消費量で 7リットル/4時間使用量で 2リットルに補給要 10～20分
3		発電機オイル				台			
4		発電機ケーブル	1			本			
5		ケーブルケーブル	1			台			
6	ガス	LPG	1			台			
7		ガス	1			台			
8		ガスライター	1			台			
9	水道	水タンク	10			個			2リットル/個
10	通信手段	ラジオ							
11		トランシーバー							施設内の連絡用
12		携帯電話充電器							
13		モバイルバッテリー							
14	情報機器	パソコン							
15		プリンター							
16		データバックアップハードディスク							
17	照明機器	ヘッドライト							
18		懐中電灯							
19		非常灯							
20		ランタン							
21		充電機							
22		充電機							
23		充電機							
24		充電機							
25		充電機							

【ライフライン】(防災用品)									
No	区分	品目	備蓄量		必要量/格不足量	単位	保管場所	担当者	調達先
			目安	備蓄量					
1	洗濯用	洗濯機							
2		洗濯機							
3		洗濯機							
4		洗濯機							
5		洗濯機							
6		洗濯機							
7	水道対策	水のう							
8		水のう							備蓄分 備蓄分
9	避難用具	ヘルメット							利用者分
10		防災頭巾							
11		防災頭巾	1			台			
12		防災頭巾	2			台			
13		防災頭巾	3			台			
14		防災頭巾	4			台			
15		防災頭巾	5			台			
16		防災頭巾	6			台			
17		防災頭巾	7			台			
18		防災頭巾	8			台			
19		防災頭巾	9			台			
20		防災頭巾	10			台			
21		防災頭巾	100			m			
22		防災頭巾							
23		防災頭巾							
24		防災頭巾							
25		防災頭巾							

【防災用品】									
No	区分	品目	備蓄量		必要量/格不足量	単位	保管場所	担当者	調達先
			目安	備蓄量					
1	衛生用品	紙おむつ							
2		紙おむつ							
3		紙おむつ							
4		紙おむつ							
5		紙おむつ							
6		紙おむつ							
7		紙おむつ							
8		紙おむつ							
9		紙おむつ							
10	トイレ	簡易トイレ							
11		簡易トイレ							
12		簡易トイレ							
13	簡便	簡便トイレ							
14		簡便トイレ							
15		簡便トイレ							
16		簡便トイレ							
17		簡便トイレ							
18		簡便トイレ							
19		簡便トイレ							
20		簡便トイレ							
21		簡便トイレ							
22		簡便トイレ							
23		簡便トイレ							
24		簡便トイレ							
25		簡便トイレ							

飲料、食品：7日分の献立表を作成し、必要な食品を考える。利用者に合わせて考える①常食、②軟飯食、③ソフト食/ペースト食/ゼリー食

No	区分	品目	備蓄量		必要量/格不足量	単位	保管場所	担当者	調達先
			目安	備蓄量					
1	飲料	飲料水(2リットル/本)	300			本			3リットル/人/日
2		ジュース(炭酸、野菜)							
3		ジュース							
4	食品	保存食(アルファ米)							
5		保存食(アルファ米)							
6		保存食(アルファ米)							
7		保存食(アルファ米)							
8		保存食(アルファ米)							
9		保存食(アルファ米)							
10		保存食(アルファ米)							
11		保存食(アルファ米)							
12	衛生用品	紙おむつ、紙おむつ							
13		紙おむつ、紙おむつ							
14		紙おむつ、紙おむつ							
15		紙おむつ、紙おむつ							
16		紙おむつ、紙おむつ							
17	簡便トイレ	簡便トイレ							
18		簡便トイレ							
19		簡便トイレ							
20		簡便トイレ							
21		簡便トイレ							
22		簡便トイレ							
23		簡便トイレ							
24		簡便トイレ							
25		簡便トイレ							

【医薬品、衛生用品、日用品】									
No	区分	品目	備蓄量		必要量/格不足量	単位	保管場所	担当者	調達先
			目安	備蓄量					
1	医薬品	救急箱							
2		救急箱、絆創膏							
3		救急箱、絆創膏							
4		救急箱、絆創膏							
5		救急箱、絆創膏							
6		救急箱、絆創膏							
7		救急箱、絆創膏							
8		救急箱、絆創膏							
9		救急箱、絆創膏							
10		救急箱、絆創膏							
11		救急箱、絆創膏							
12		救急箱、絆創膏							
13		救急箱、絆創膏							
14		救急箱、絆創膏							
15		救急箱、絆創膏							
16		救急箱、絆創膏							
17		救急箱、絆創膏							
18		救急箱、絆創膏							
19		救急箱、絆創膏							
20		救急箱、絆創膏							
21		救急箱、絆創膏							
22		救急箱、絆創膏							
23		救急箱、絆創膏							
24		救急箱、絆創膏							
25		救急箱、絆創膏							

【対策本部、防災用品】									
No	区分	品目	備蓄量		必要量/格不足量	単位	保管場所	担当者	調達先
			目安	備蓄量					
1	対策本部	ホワイトボード							
2		ホワイトボード							
3		ホワイトボード							
4		ホワイトボード							
5		ホワイトボード							
6		ホワイトボード							
7		ホワイトボード							
8		ホワイトボード							
9		ホワイトボード							
10		ホワイトボード							
11		ホワイトボード							
12		ホワイトボード							
13		ホワイトボード							
14		ホワイトボード							
15		ホワイトボード							
16		ホワイトボード							
17		ホワイトボード							
18		ホワイトボード							
19		ホワイトボード							
20		ホワイトボード							
21		ホワイトボード							
22		ホワイトボード							
23		ホワイトボード							
24		ホワイトボード							
25		ホワイトボード							

様式7-災害：業務分類（優先業務の選定）（災害用）

施設の業務を重要度に応じて4段階に分類し、出勤状況を踏まえ縮小・休止する。入所者・利用者の健康・身体・生命を守る機能を優先的に維持する。（出勤率をイメージしながら作成。）

※：電気の復旧が3日は震度6の想定。震度7では7目に復旧の想定

分類名称	定義	業務例	出勤率			
			30%(発災後6時間)	50%(発災後3日)	70%(発災後7日)	90%(21日)
業務の基本方針			生命・安全を守るために必要最低限のサービスを提供 徒歩で出勤可能者で対応	食事、排泄を中心 その他は休止または減電気復旧(※)。道路仮復旧。	一部休止するが ほぼ通常通り 応援者の支援あり	ほぼ通常通り 水道復旧。ガスはLPの想定
A:継続業務	・優先的に継続する業務 ・通常と同様に継続すべき業務	食事、排泄、医療的ケア、清拭 等	食事(災害時メニュー、朝夕のみ) 排泄(オムツを利用) 医療的ケア(必要最低限)	食事(災害時メニュー、簡易食品) 排泄(ほぼ通常通り) 医療的ケア(ほぼ通常通り) 清拭	食事(ほぼ通常通り) 排泄(ほぼ通常通り) 医療的ケア(ほぼ通常通り) 清拭	食事(通常のメニュー) 排泄 医療的ケア(ほぼ通常通り) 清拭
B:追加業務	・災害復旧、事業継続の観点から新たに発生する業務	【インフラ対策】 電気用燃料確保、発電機の点検 飲料水、生活用水の確保 ガスの調達 その他物資の調達。修理の依頼 【人員対策】 出勤者の確保、シフト調整 応援者の手配、教育 委託業務の提供中止に対する対応	電気用燃料確保、発電機の点検 飲料水、生活用水の確保 ガスの調達 その他物資の調達。修理の依頼 出勤者の確保、シフト調整 施設内、法人内応援者の手配	飲料水、生活用水の確保 ガスの調達 その他物資の調達。修理の依頼 応援者の受入、教育 法人内の玉突き支援 行政、関連団体等への応援要	飲料水、生活用水の確保 ガスの調達 その他物資の調達。修理の依頼 職員の復帰に合わせ応援者の縮小 法人内の玉突き支援	ガスの調達 その他物資の調達。修理の依頼 職員の復帰に合わせ応援者の縮小 法人内の正常化
C:削減業務	・規模、頻度を減らすことが可能な業務	入浴、機能訓練 口腔ケア 洗顔 洗濯 掃除 等	入浴(休止) 機能訓練(休止) 必要者に、うがい 洗顔(休止) 洗濯(休止)。ディスポーシートで対応 清掃(感染対策のみ)	入浴(休止)。適宜清拭 機能訓練(褥瘡・拘縮予防) 必要者に、うがい 洗顔(必要者に清拭) 洗濯(必要最低限) 清掃(感染対策のみ)	入浴(休止)。適宜清拭 機能訓練(褥瘡・拘縮予防) 適宜口腔ケア 洗顔(必要者に清拭) 洗濯(必要最低限) 清掃(感染対策のみ)	入浴(ほぼ通常通り) 機能訓練(ほぼ通常通り) 口腔ケア(ほぼ通常通り) 洗顔(ほぼ通常通り) 洗濯(ほぼ通常通り) 清掃(ほぼ通常通り)
D:休止業務	・上記以外の業務		以下の休止 ・事務管理業務 ・研修、教育、各種委員会活動 ・レクリエーション ・利用者に代わって行う行政機関等への手続 ・利用者とその家族の交流 ・利用者の外出の機会	以下の休止 ・事務管理業務 ・研修、教育、各種委員会活動 ・レクリエーション ・利用者に代わって行う行政機関等への手続 ・利用者とその家族の交流 ・利用者の外出の機会	以下の縮小(実施回数等の制限) ・事務管理業務 ・研修、教育、各種委員会活動 ・レクリエーション ・利用者に代わって行う行政機関等への手続 ・利用者とその家族の交流 ・利用者の外出の機会	以下の縮小(実施回数等の制限) ・事務管理業務 ・研修、教育、各種委員会活動 ・レクリエーション ・利用者に代わって行う行政機関等への手続 ・利用者とその家族の交流 ・利用者の外出の機会

様式9：災害時利用者一覧表（安否確認優先順位）

事業所名：

No	優先順位※			地域 区分	氏名（年齢）	住所(自治会)
	医療・介護	環境	避難			
1	胃瘻	○	高		A ・ Nさん（82）	足立区
2	高齢・認知症	○	高		O ・ R さん （101）	足立区
3	認知症	○			K ・ Yさん（90）	足立区
4	ALS				M ・ Nさん（71）	足立区
5	認知症				O ・ Tさん（89）	荒川区
6	全盲		独		M ・ Sさん（89）	足立区
7	認知症				K ・ Kさん（87）	足立区
8	人工透析				O ・ Hさん（68）	足立区
9	人工透析				O ・ Nさん（82）	足立区
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						

※優先順位の「医療・介護」、「環境」、「避難」は、優先順位を決める際の基準項目であり、順番に意味

作成： 2024年7月30日

想定される避難場所		特記	担当ケアマネ	安否確認できた日
避難所	介護・医療機関			
	西新井病院	高齢世帯、遠距離時は車椅子	米田CM	
	いずみ記念病院	娘との二人暮らし、移動は車椅子	おおきな木 台東	
	いずみ記念病院	長男、長女との三世帯。移動車椅子	本木 関原 居宅	
	いずみ記念病院	夫は認知症あり。ストレッチャー移動	プレミアム扇	
	熊野前医院	妻は認知症あり。移動は車椅子	米田CM	
	東京洪誠病院	単身世帯	本木 関原 居宅	
	東京女子医大足立医療センター	息子と二世帯。遠距離は車椅子	わかばケアセンター 扇	
	西新井病院	娘との二人暮らし。移動は車椅子	梅元ケアセンター	
	苑風会病院	妻との二人暮らし・遠距離移動車椅子	ふくろう	

※ 記載されていない。避難支援の欄には、独居→(独) 高齢世帯→(高) 日中独居→(日)と記載す。